

平成29年度「広島市児童生徒の体力・運動能力調査」の結果について（報告）

1 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の概要

(1) 調査目的

- ア 子供の体力が低下している状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各国公立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査校数等

ア 調査対象

広島市立小学校第5学年児童、広島市立特別支援学校小学部第5学年児童
 広島市立中学校第2学年生徒、広島中等教育学校（前期課程）第2学年生徒
 広島市立特別支援学校中学部第2学年生徒

イ 調査校数及び調査人数

校種	小学校	中学校	中等教育学校	特別支援学校	合計
調査校数（校）	142	63	1	※1	207
調査人数（人）	10,847	9,533	118	41	20,539

※ 特別支援学校については、小・中学校を含む。

(3) 調査日程

ア 調査実施期間

平成29年4月～7月

イ 調査公表日

平成30年2月13日（スポーツ庁公表）

(4) 調査事項

ア 児童生徒に対する調査

(ア) 実技調査

種目	体力評価	小学校第5学年 小学部第5学年	中学校第2学年 中学部第2学年
握力	筋力	○	○
上体起こし	筋力・筋持久力	○	○
長座体前屈	柔軟性	○	○
反復横とび	敏しょう性	○	○
20mシャトルラン（往復持久走）	全身持久力	○	○
持久力（男子1,500m・女子1,000m）		—	○
50m走	スピード	○	○
立ち幅とび	筋パワー	○	○
ソフトボール投げ	巧ち性・筋パワー	○	—
ハンドボール投げ		—	○

(イ) 質問紙調査 (小学校: 33項目 中学校32項目)

運動習慣、体育・保健体育の授業等に関する質問紙調査

イ 学校に対する質問紙調査 (小学校: 34項目 中学校40項目)

児童生徒の体力向上に係る取組、体育・保健体育の授業等に関する質問紙調査

ウ 教育委員会に対する質問紙調査 (11項目)

子供の体力向上に係る施策等に関する質問紙調査

(5) 実技調査の結果

男子児童の体力の推移（小学校第5学年、小学部第5学年）

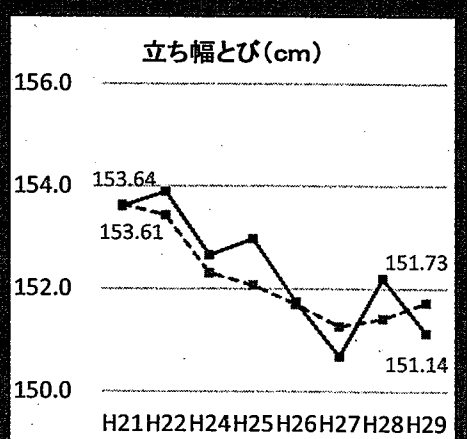
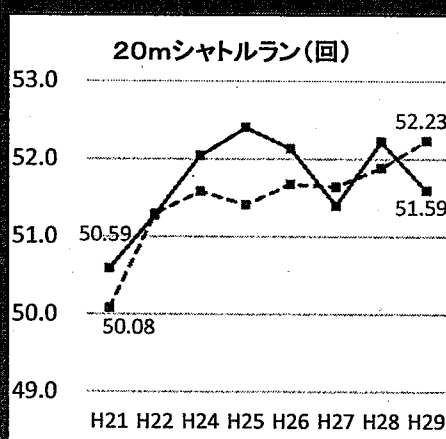
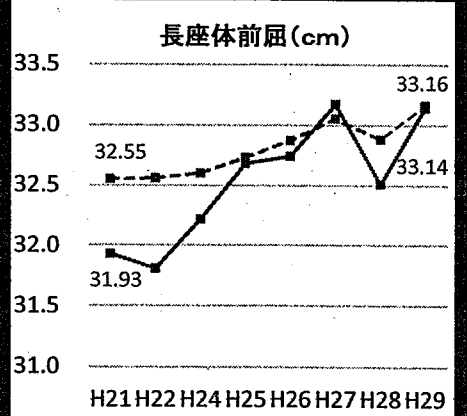
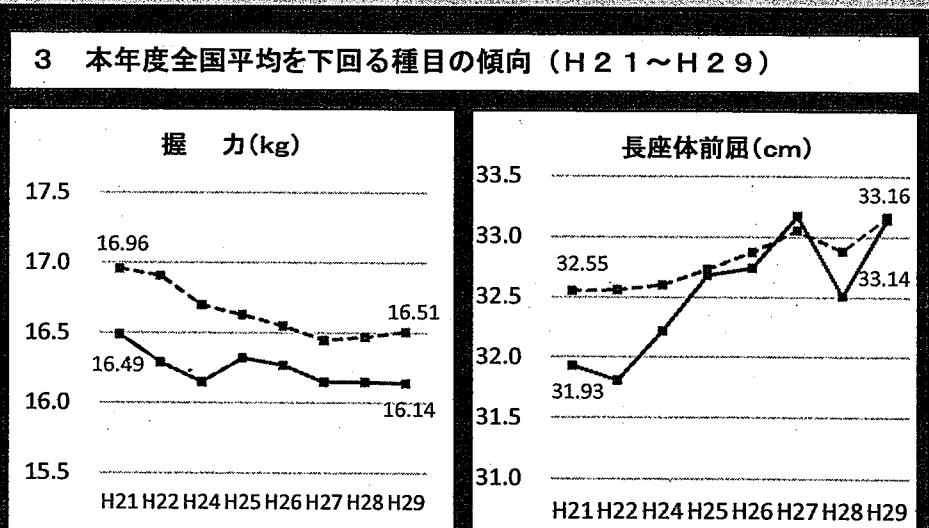
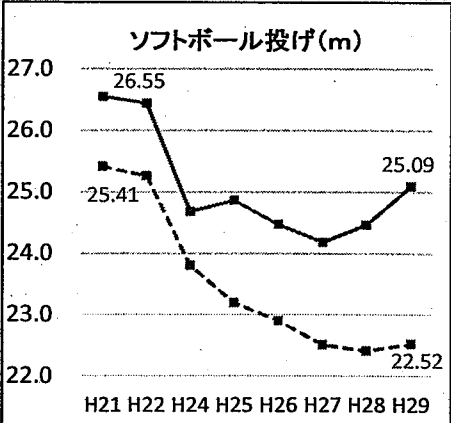
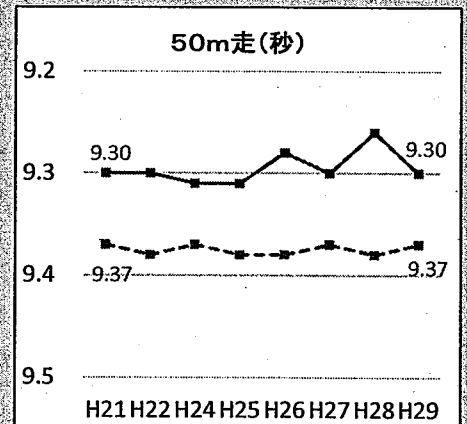
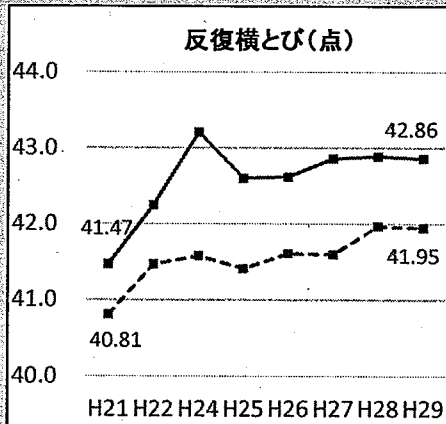
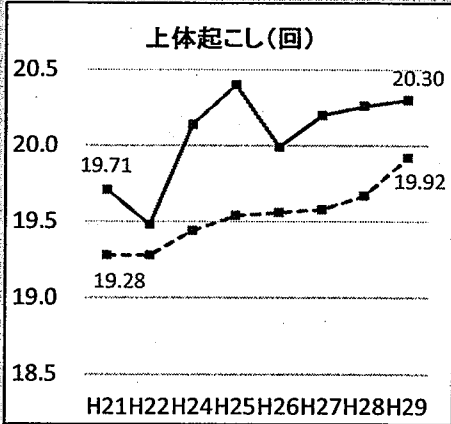
1 全国平均値と同じか上回る種目数

	種目数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
小5男子	8	5	5	—	6	6	6	5	6	4

※H22,H24は抽出調査、H23は東日本大震災の影響により調査無

2 本年度全国平均と同じか上回る種目の傾向（H21～H29）

--- 全国
— 広島市



- 全国平均値(H29)との比較
 - ・ 同じか上回る種目(4種目)
上体起こし 反復横とび
50m走 ソフトボール投げ
 - ・ 下回る種目(4種目)
握力 長座体前屈
20mシャトルラン 立ち幅とび
- 広島市平均値(H21)との比較
 - ・ 同じか上昇している種目(5種目)
上体起こし 反復横とび
長座体前屈 50m走
20mシャトルラン
 - ・ 低下している種目(3種目)
握力 立ち幅とび
ソフトボール投げ

女子児童の体力の推移（小学校第5学年、小学部第5学年）

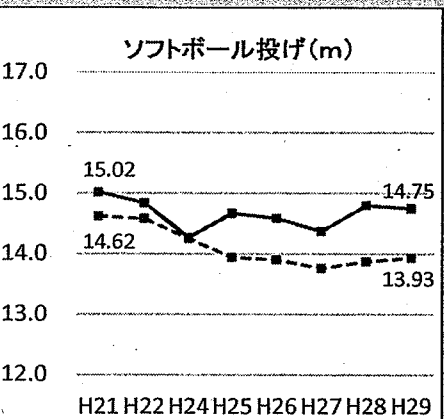
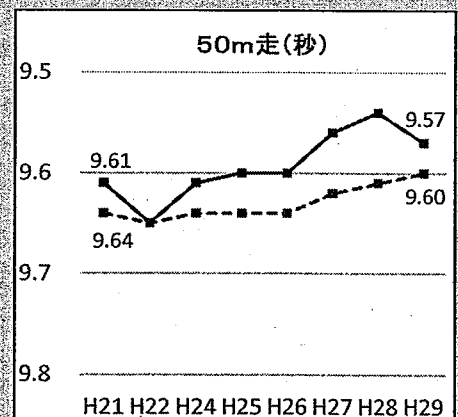
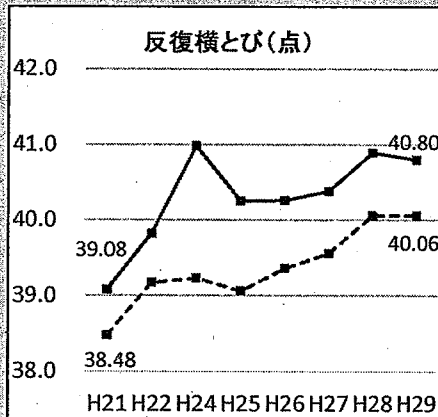
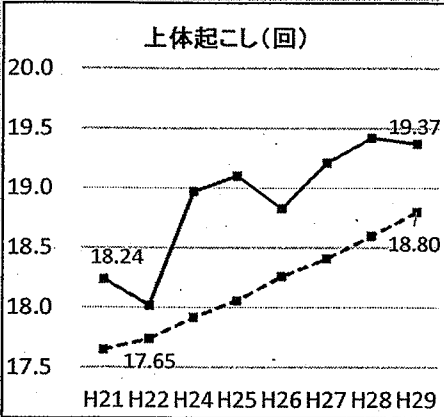
1 全国平均値と同じか上回る種目数

	種目数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
小5女子	8	4	4	—	5	6	4	6	5	4

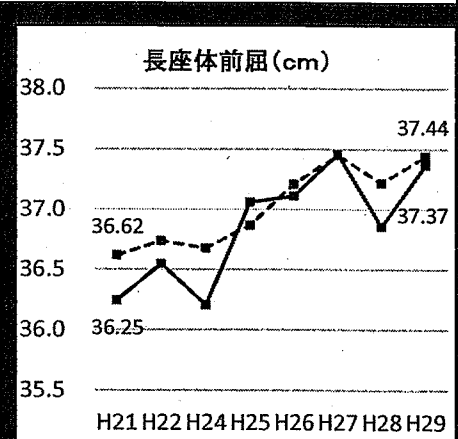
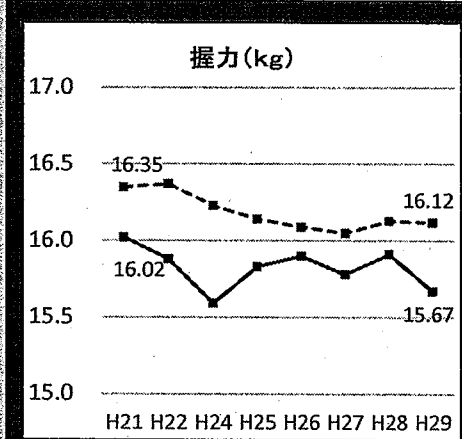
※H22,H24は抽出調査、H23は東日本大震災の影響により調査無

2 本年度全国平均と同じか上回る種目の傾向（H21～H29）

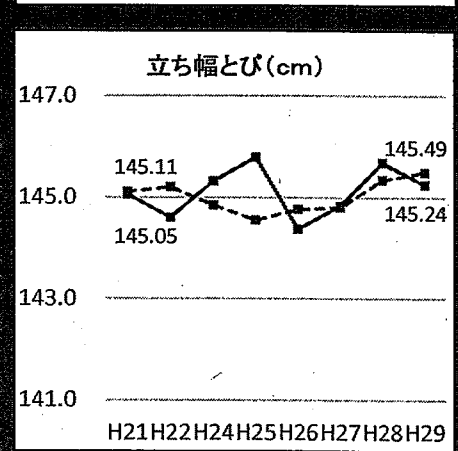
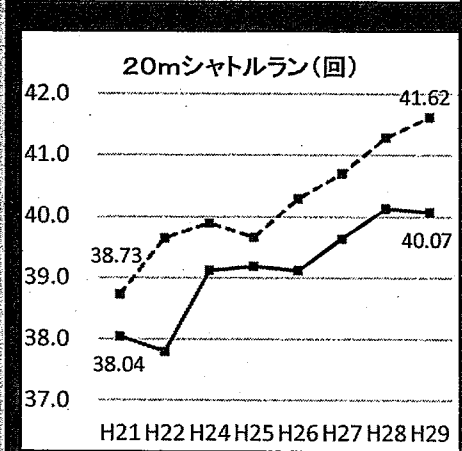
--- 全国
— 広島市



3 本年度全国平均を下回る種目の傾向（H21～H29）



- 全国平均値(H29)との比較
 - ・ 同様に上回る種目(4種目)
 - 上体起こし 反復横とび
 - 50m走 ソフトボール投げ
 - ・ 下回る種目(4種目)
 - 握力 長座体前屈
 - 20mシャトルラン 立ち幅とび
- 広島市平均値(H21)との比較
 - ・ 同様に上昇している種目(6種目)
 - 上体起こし 反復横とび
 - 長座体前屈 50m走
 - 20mシャトルラン 立ち幅とび
 - ・ 低下している種目(2種目)
 - 握力 ソフトボール投げ



男子生徒の体力の推移（中学校第2学年、中学部第2年）

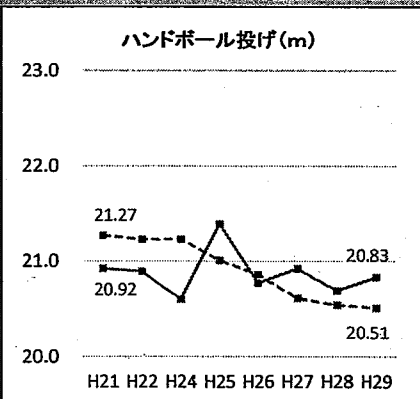
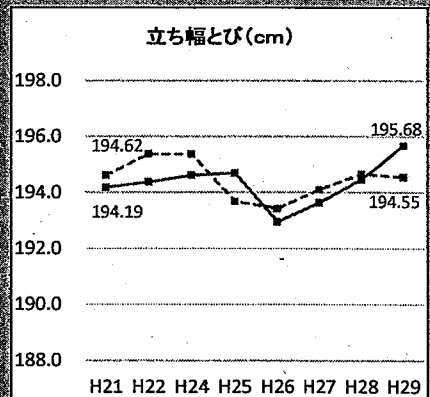
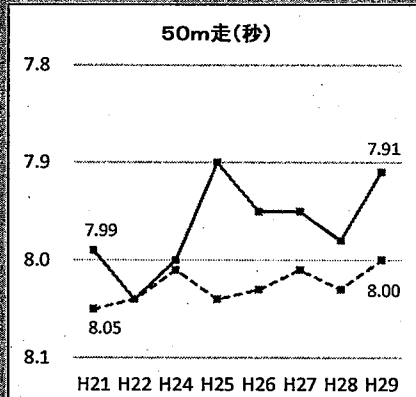
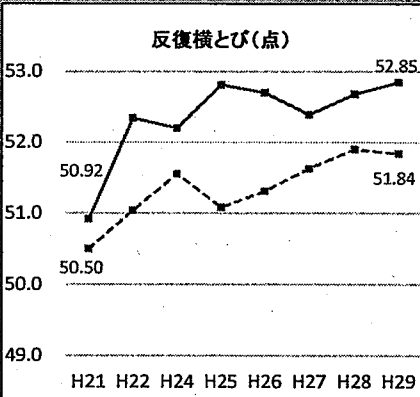
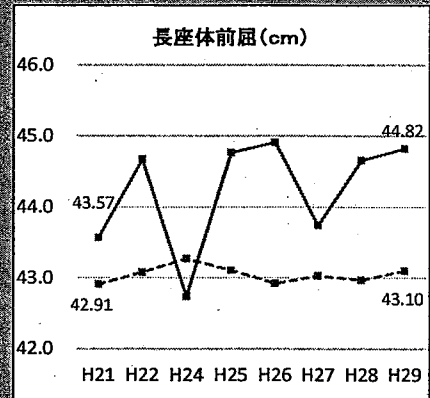
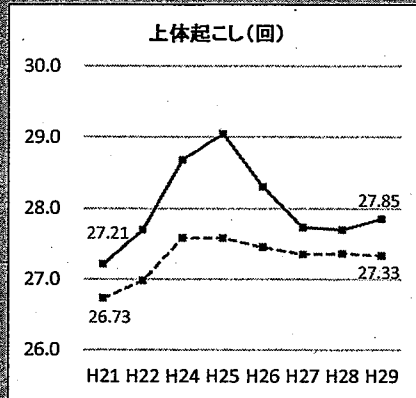
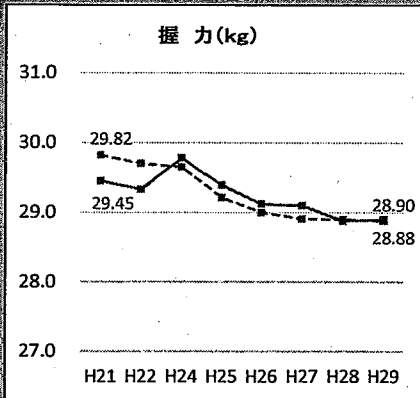
1 全国平均値と同じか上回る種目数

	種目数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
中2男子	9	4	4	—	4	6	5	6	5	7

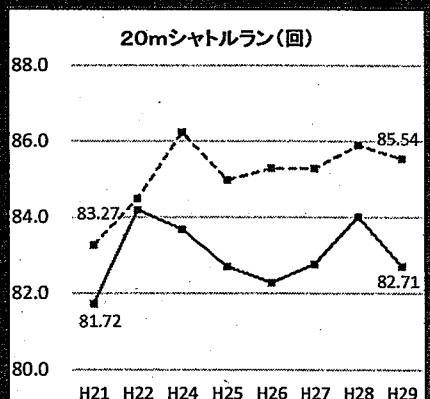
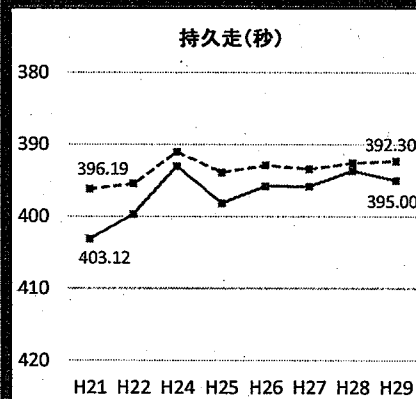
※H22・H24は抽出調査、H23は東日本大震災の影響により調査無し

2 本年度全国平均と同じか上回る種目の傾向（H21～H29）

--- 全国
— 広島市



3 本年度全国平均を下回る種目の傾向（H21～H29）



- 全国平均値(H29)との比較
 - ・ 同様に上回る種目(7種目)
握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 立ち幅とび ハンドボール投げ
 - ・ 下回る種目(2種目)
持久走 20mシャトルラン
- 広島市平均値(H21)との比較
 - ・ 同様に上昇している種目(7種目)
上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 立ち幅とび 持久走 20mシャトルラン
 - ・ 低下している種目(2種目)
握力 ハンドボール投げ

女子生徒の体力の推移（中学校第2学年、中学部第2年）

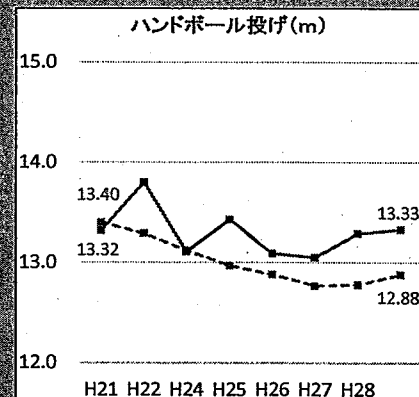
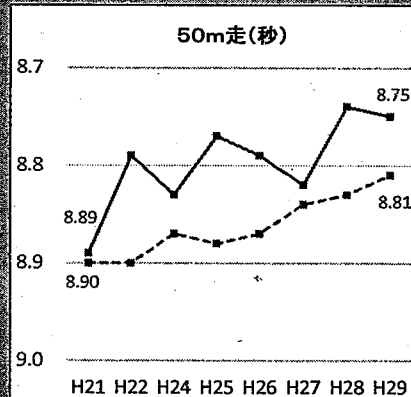
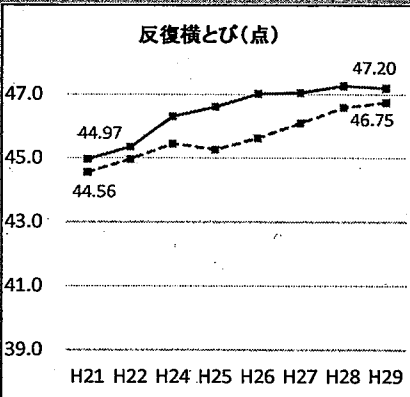
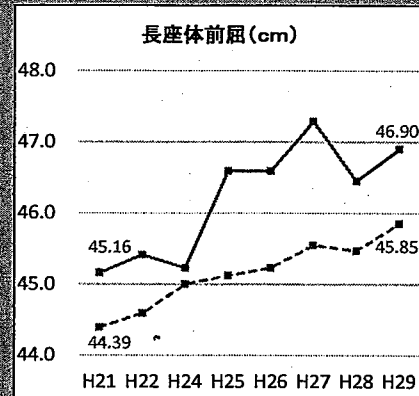
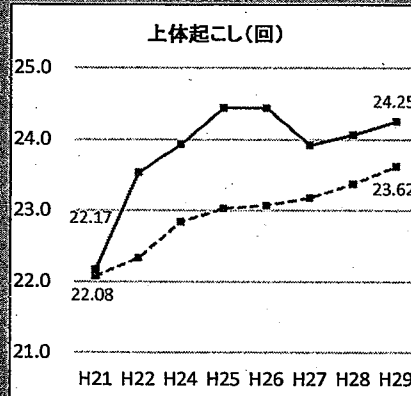
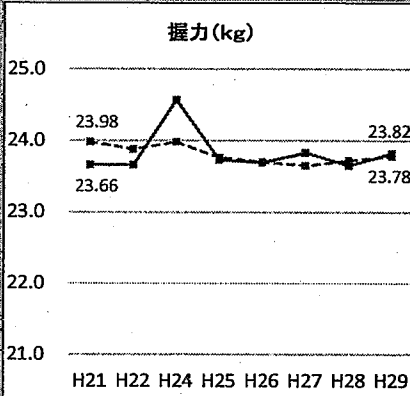
1 全国平均値と同じか上回る種目数

	種目数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
中2女子	9	3	5	—	6	6	6	7	6	6

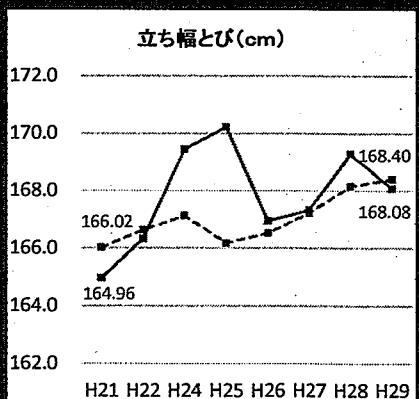
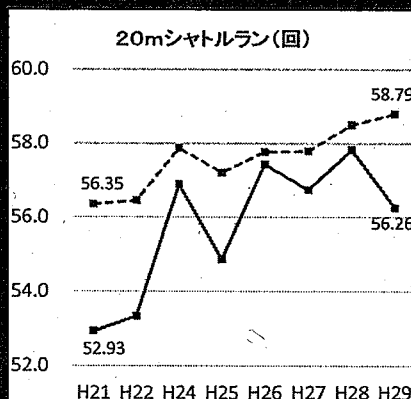
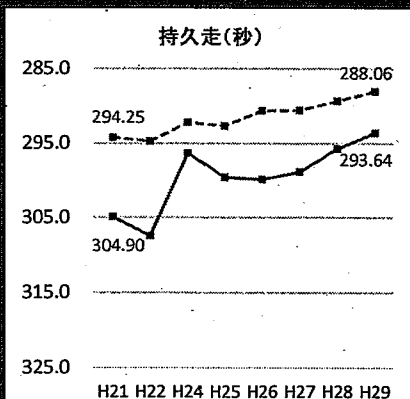
※H22・H24は抽出調査、H23は東日本大震災の影響により調査無し

2 本年度全国平均と同じか上回る種目の傾向（H21～H29）

--- 全国
— 広島市



3 本年度全国平均を下回る種目の傾向（H21～H29）



○ 全国平均値(H29)との比較

- ・ 同じか上回る種目(6種目)
握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 ハンドボール投げ
- ・ 下回る種目(3種目)
持久走 20mシャトルラン 立ち幅とび

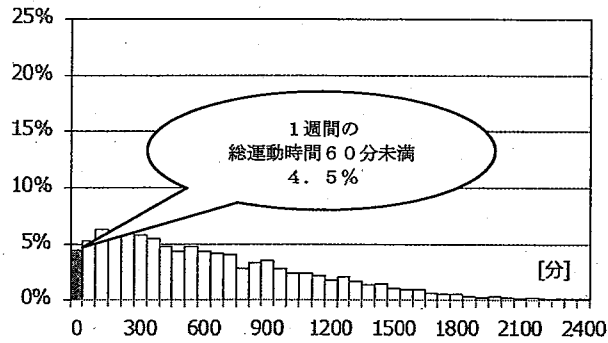
○ 広島市平均値(H21)との比較

- ・ 同じか上昇している種目(9種目)
握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 ハンドボール投げ 持久走
20mシャトルラン 立ち幅とび

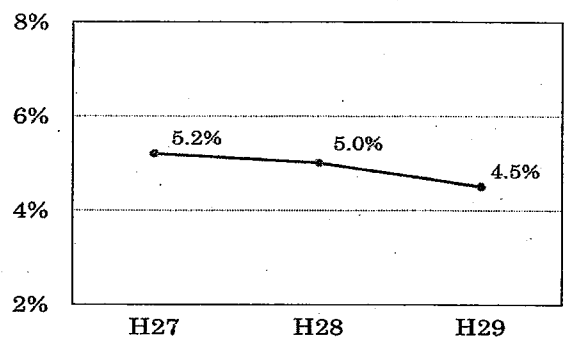
(6) 児童生徒に対する質問紙調査の結果（一部抜粋）

ア 1週間の総運動時間の分布及び経年変化（体育・保健体育の授業を除く）

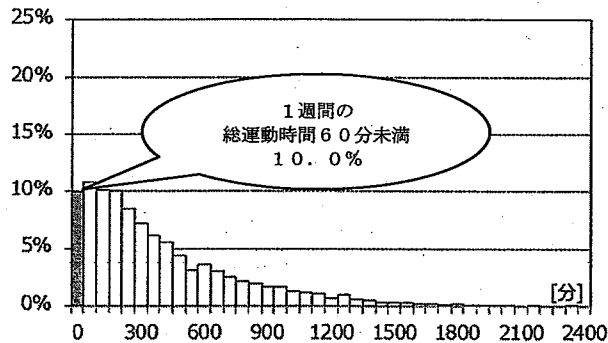
【小学校第5学年分布：男子】



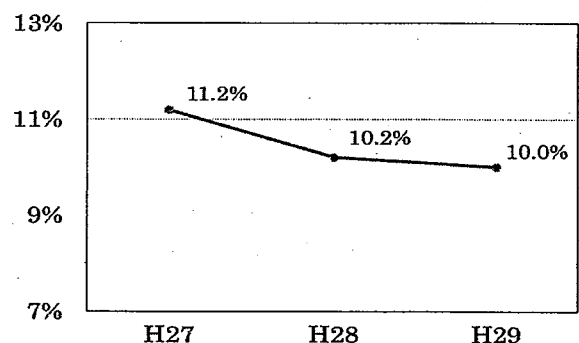
【小学校第5学年経年変化：男子】



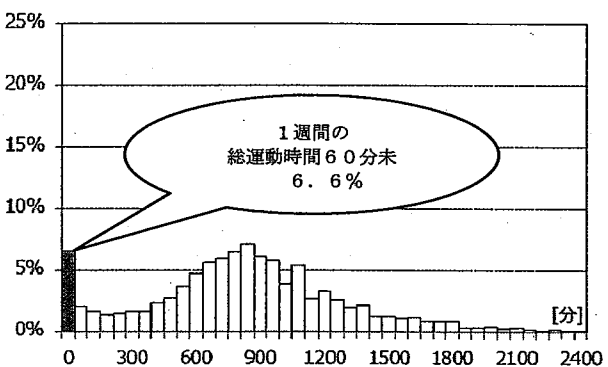
【小学校第5学年分布：女子】



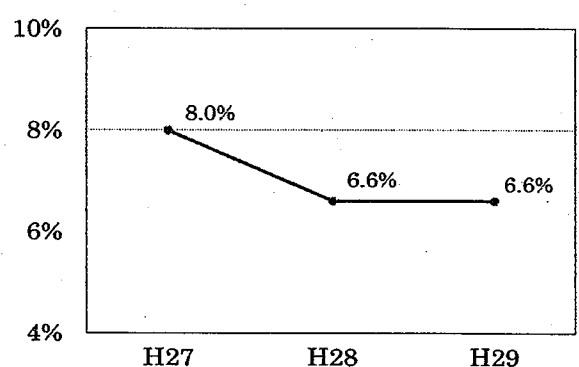
【小学校第5学年経年変化：女子】



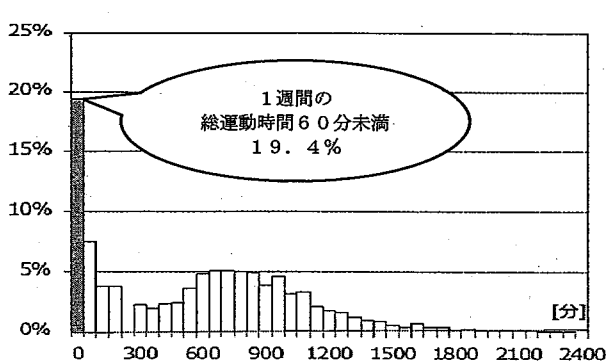
【中学校第2学年分布：男子】



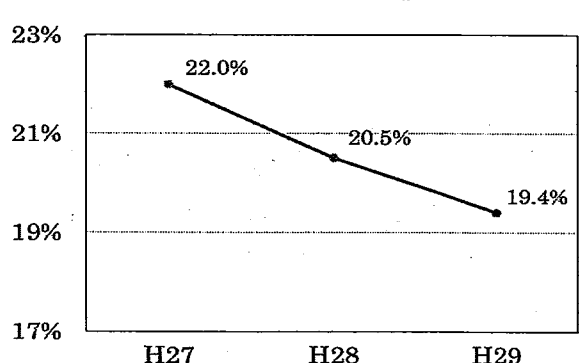
【中学校第2学年経年変化：男子】



【中学校第2学年分布：女子】



【中学校第2学年経年変化：女子】

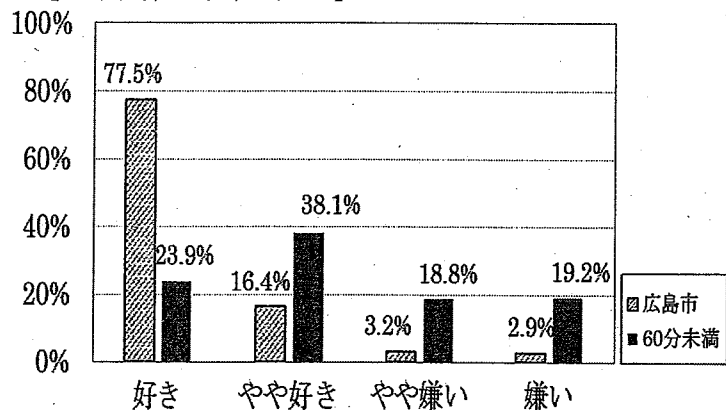


○ 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒の割合は、減少傾向にあります。

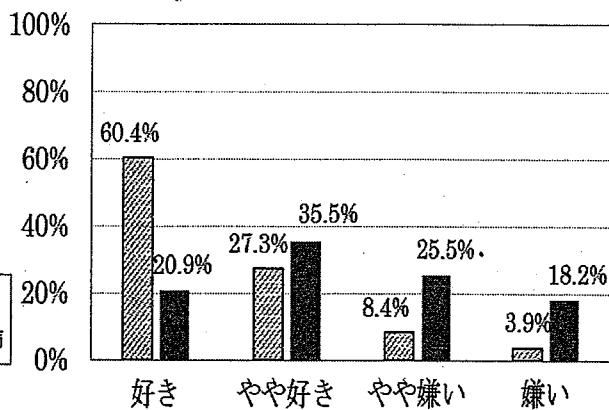
2 1週間総運動時間60分未満児童生徒の質問紙調査の分析

(1) 運動が好きと答えた児童生徒の割合

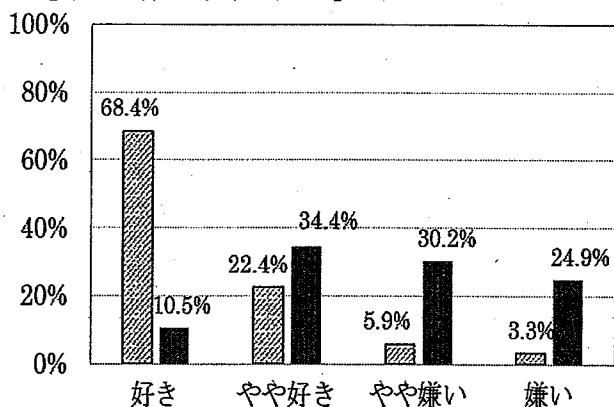
【小学校第5学年：男子】



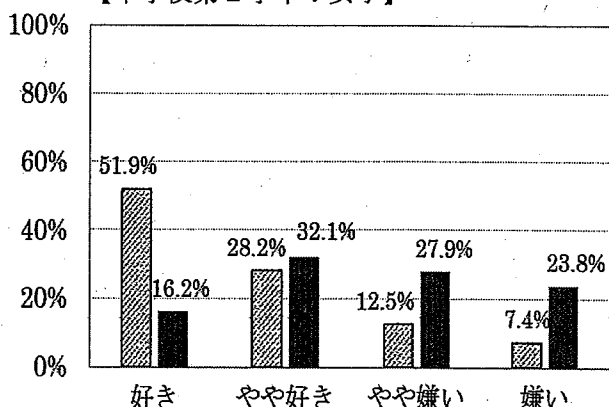
【小学校第5学年：女子】



【中学校第2学年：男子】

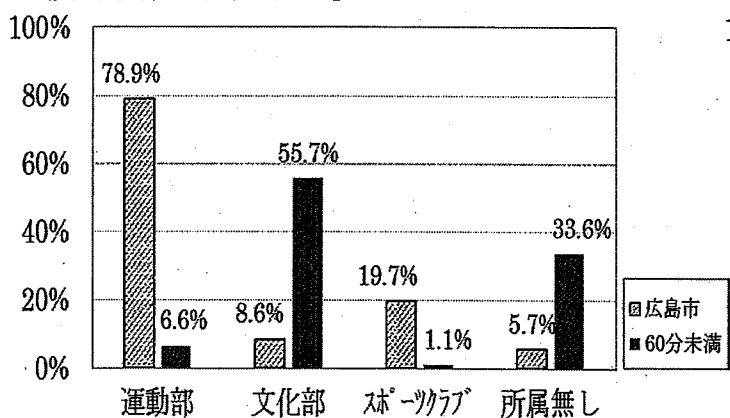


【中学校第2学年：女子】

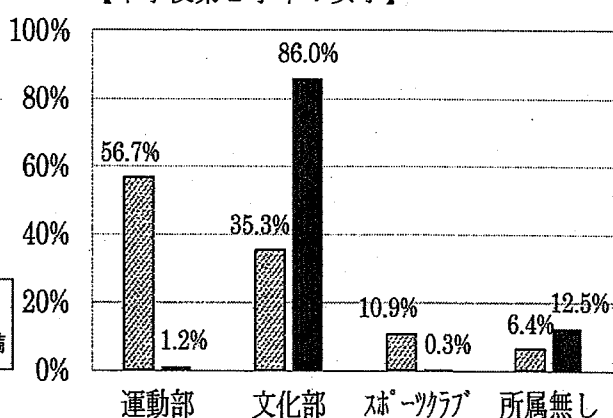


(2) 運動部活動や文化部活動等への所属状況

【中学校第2学年：男子】



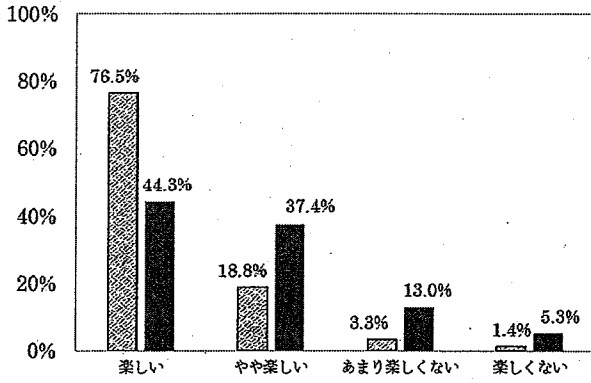
【中学校第2学年：女子】



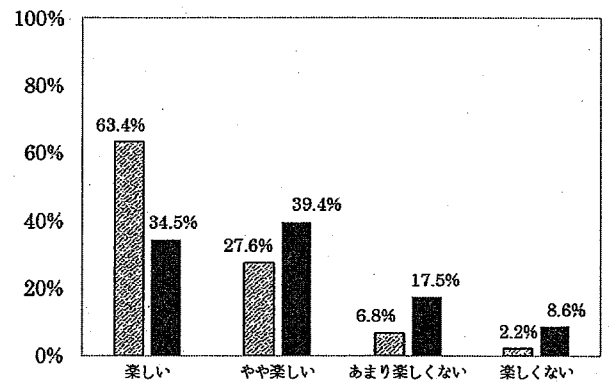
- 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒は、運動に対して肯定的な回答をした割合が低い傾向にあります。
- 中学校においては、1週間の総運動時間60分未満の生徒は、文化部活動に所属している割合が高くなっています。

(3) 体育・保健体育の授業が楽しいと答えた児童生徒の割合

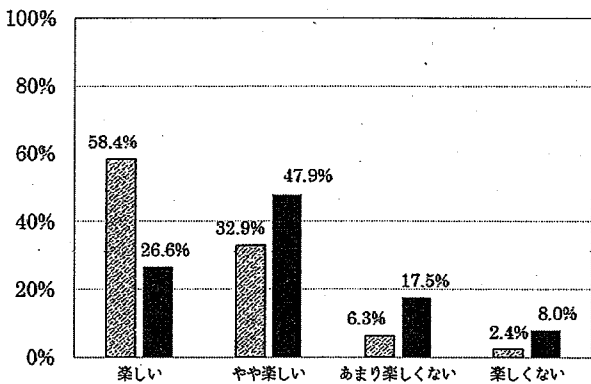
【小学校第5学年：男子】



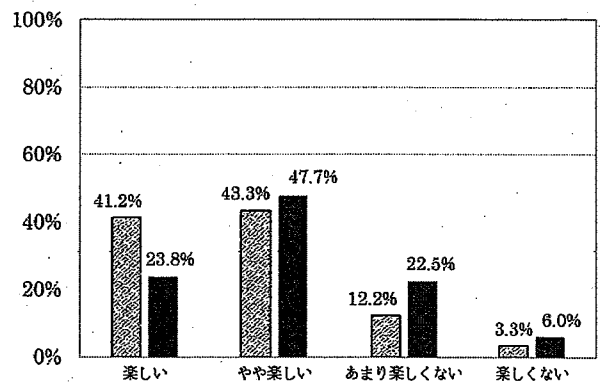
【小学校第5学年：女子】



【中学校第2学年：男子】



【中学校第2学年：女子】

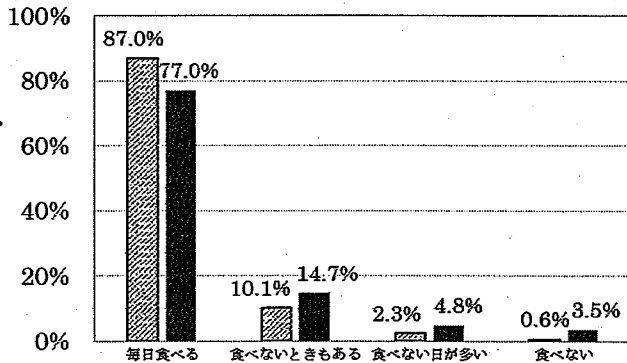


○ 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒は、体育・保健体育の授業に対して肯定的な回答をした割合が低い傾向にあります。

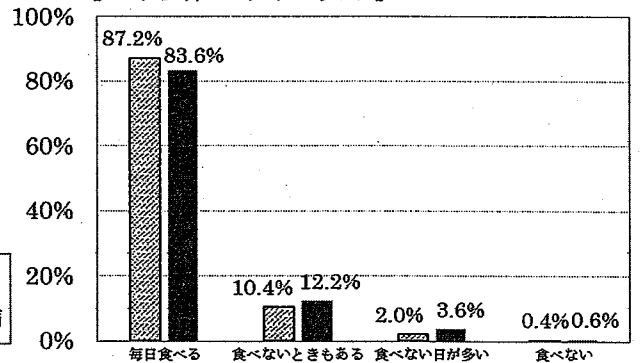
(4) 生活習慣について

ア 朝食の摂取状況

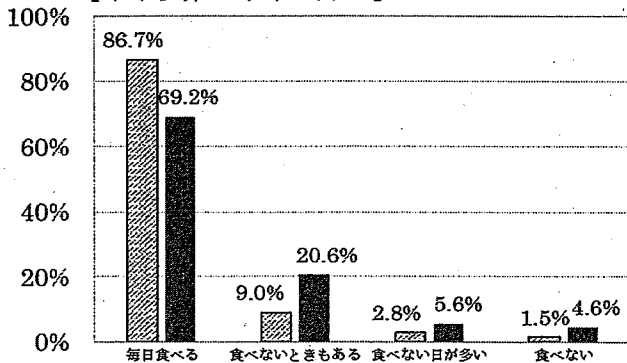
【小学校第5学年：男子】



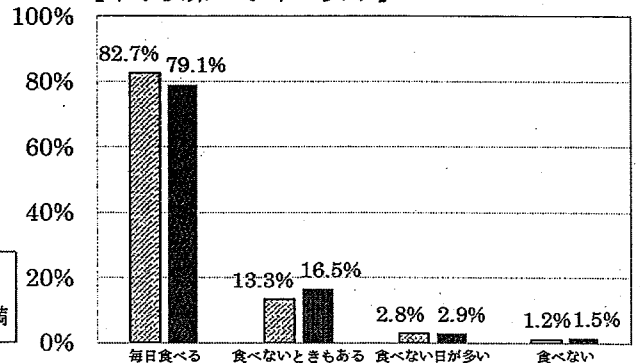
【小学校第5学年：女子】



【中学校第2学年：男子】

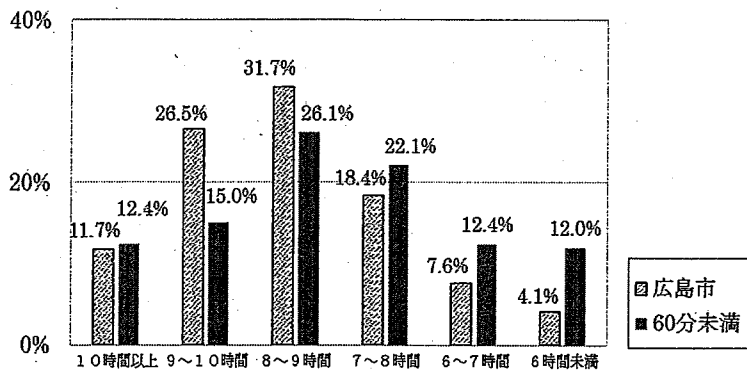


【中学校第2学年：女子】

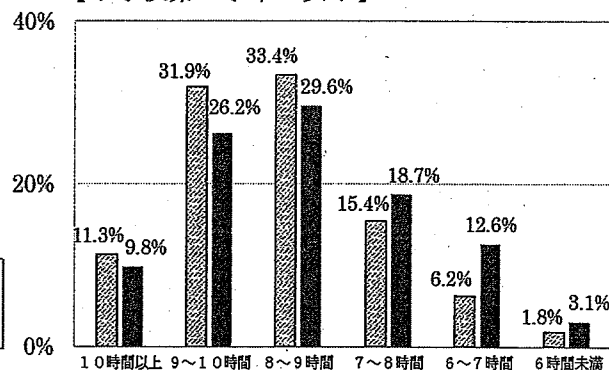


イ 睡眠時間

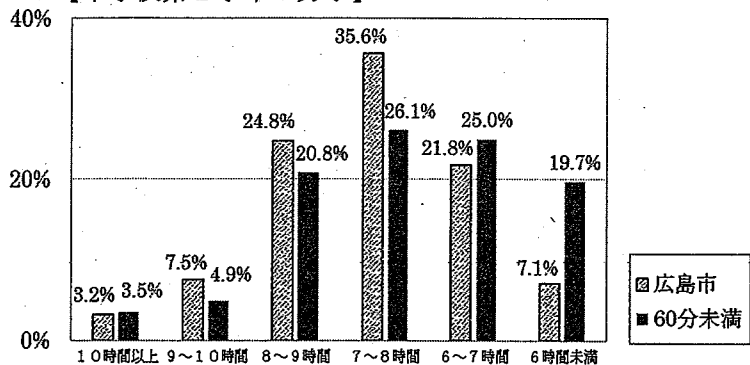
【小学校第5学年：男子】



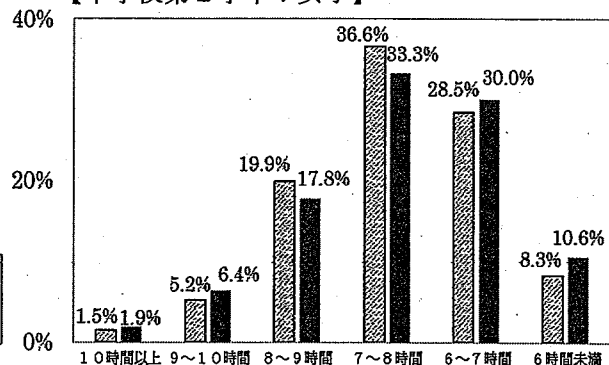
【小学校第5学年：女子】



【中学校第2学年：男子】



【中学校第2学年：女子】



○ 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒は、朝食の摂取率や、睡眠時間の長さにおいて、広島市平均より低い傾向にあります。

3 分析結果

- (1) 本市の児童生徒の体力の状況は、全体的に改善の傾向が見られるが、小学校では、「握力」、「ソフトボール投げ」、「立ち幅とび」、中学校では、「握力」、「ハンドボール投げ」が低下しており、課題がある。
- (2) 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒の状況については、減少傾向にあるが、依然として中学生を中心に運動習慣の二極化が見られる。

1週間の総運動時間60分未満の児童生徒の分析を行った結果、①主体的に運動に取り組む関心・意欲の向上、②授業のねらいを達成するのに努力を要する児童生徒に対応した体育・保健体育の授業改善、③運動、食事、睡眠のバランスのとれた生活習慣の改善の3点の課題が明らかとなった。

4 今後の方針

- (1) 本市の児童生徒の課題である「握力」、「ソフトボール投げ」、「立ち幅とび」、「ハンドボール投げ」に対応した、これまでの取組を継続する。
- (2) 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒に運動習慣の定着に向けた取組を行う。

これらを通じて、本市児童生徒の体力の向上を図る。

<具体的な取組>

- (1) 「握力」、「ソフトボール投げ」、「立ち幅とび」、「ハンドボール投げ」に対応した取組の継続
 - ア 体力向上推進校の指定
 - ・ 体力向上推進校を指定し、調査で明らかになった課題を踏まえた授業改善を行い、その成果を公開研究会や実践発表会等を通じて、他の小・中学校へ普及・啓発を行う。
 - イ 教員の指導力向上に係る実技研修会の開催
 - ・ 体育・保健体育の授業改善を図る取組として、実技研修会を開催し、課題となっている「握力」「ソフトボール投げ」、「立ち幅とび」、「ハンドボール投げ」の向上に向けた取組を進める。
- (2) 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒に運動習慣の定着に向けた取組
 - ア 主体的に運動に取り組む関心・意欲の向上
 - ・ 休憩時間や放課後を利用して、縄跳びや球技など、学校生活の中で運動に親しむ機会を設定し、1週間の総運動時間60分未満の児童生徒に体を動かすことの楽しさや心地よさを実感させる。
 - ・ 広島市中学校教育研究会や広島市中学校体育連盟、広島市中学校文化連盟と連携し、家庭でもできる手軽な運動事例集を作成し、1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒を減少させる。
 - ・ 児童に体を動かすための動機付けとして、「体力アップハンドブック」を交付し、運動の習慣化を図る取組を継続して行う。
 - イ 体育・保健体育の授業改善
 - ・ 自校の調査結果を分析し、体育・保健体育科の授業導入時に、運動事例集に記載されたタオル綱引きやジャンケン鬼ごっこなど、体力向上に係る運動を取り入れる。
 - ウ 運動、食事、睡眠のバランスのとれた生活習慣の改善
 - ・ 生活リズムカレンダーの活用や、休憩時間に体を動かすことなどによって、児童生徒に健康的な生活習慣を身に付けさせる指導を行うとともに、学校通信やホームページ等により、自校の体力テストの結果や、「運動」、「食事」、「睡眠」に関する情報を保護者に発信し、啓発活動を行う。